



# 「こんにちは 市長です」

1月20日号

年が明けて、もう20日がたつ。穏やかなお正月で「今年もいい年になりそう!」と思ったのはつかの間、予算査定が始まって少々心乱れた。どうも来年度は税収が少なめになりそう。標準的な暮らしをしていくなればこれくらい、と国が標準的な財政規模を決めてくる。お金が足らなければ国がお金を補填する(地方交付税)。「補填する」と言っただって法人税や所得税など国民が支払った税金を原資にしているわけで、お金持ちからお金のないところへ国が仲立ちをしてお金を回すシステムだ。太田は国からお金をほとんどもらっていない。だから「税収が落ち込みそう」は市の財政を直撃するわけで、心乱れるのである。

今年はオリンピックの年、何も猛暑が分かっている夏にオリンピックはないだろうと思ってきたがそれは素人の考えか。温暖化が地球を壊すと言われる中、ガンガン冷房で会場を冷やして無謀なほどのエネルギーを使ってCO<sub>2</sub>を出す。しかも真夏では肝心のアスリートファーストにならない。ベストを尽くしたくても環境がそうはさせない。世界新とかオリンピック新などは期待できまい。マラソンを中継するために東京は美しくなった。札幌マラソンになってしまって小池知事は地団駄踏んで悔しがっていることだろう。気持ちは分かる。確実に魅力的な東京を世界に紹介するつもりだったのに、である。

太田も側面からオリンピックを応援する。今月27日、アフリカのマラウイからオリンピック関係者が視察に来る。陸上、柔道、ボクシング、アーチェリーに出る予定だという。事前合宿で選手たちと市民との交流事業を計画したい。また、この機会にマラウイのショップ、コーヒー店を造りたいと思っている。バスターミナル待合室を改装する。新たなにぎわいを期待している。